

気持ちがほっとするこの場所でスローライフを満喫！



布施 文雄さん
恵美子さん
(横浜市出身)
2007年 山形市「蔵王みはらしの丘」
へ移住

(平成21年1月撮影)

移住のきっかけ 恵美子さんは元々山形の出身。結婚して横浜で暮らしていましたが、7～8年前から、親の病気のため2人で横浜から山形に帰る機会が多くなってきました。山形では両親の食事の世話などであたたかい毎日でしたが、時間を見つけての温泉やおいしい食べ物などが大変気に入っていました。

山形は帰るたびに気持ちがのんびりする場所で、(文雄さんの)ふるさとでは天気の良い日は富士山がとてもきれいに見えたこともあり、山形も同じように山を見ながら四季を感じられる環境がいいなあと思っていました。また、山形に帰って1週間も経つとこちらに慣れてしまい、それから横浜に帰るのは体力的にも辛かったし、両親にも可哀想と感じていました。

そして次第に定年後は山形に住みたいと思うようになり、山形で住む場所を探し始めました。「蔵王みはらしの丘」は市街地からは少し離れていましたが、蔵王を眺められる環境が気に入り、予算的にも丁度よかったため、今の場所を選び、運良く住むことができました。

住んでみて 定年を機に引っ越して丸1年が過ぎましたが、ここは生活するにも静かな環境でとてもよいところです。天気が良ければ家から蔵王ロープウェイの山頂の駅が眺められ、朝のゴミ出しも大変気持ちよくできます。住民同士、子供達も必ず挨拶してくれます。横断歩道も譲り合いで、“どうぞ”と言うと、“どうぞどうぞ”の譲り合いでかえって危ないくらい。



ミニ農園では大根がすくすくと育っています

野菜づくり 「蔵王みはらしの丘」は敷地が広くてゆったりしているのもよいところ。家では、ガーデニングや1坪分くらいのミニ農園で野菜づくりを楽しんでいます。じゃがいも、ゴーヤ、ミニトマト、枝豆などなど。

初めての経験で、最初のうちは実が付いてもいつ食べられるのかよく分からないような状態でした。それでもあんなにすくすく育ったのは驚き。やっぱり空気がいいんでしょうね。横浜ではプランターで栽培していましたが、成功したことがなかったので。来年はもっと計画を立てながら、いろいろまずは自分でやってみようと思っています。

体力づくり 横浜ではデスクワークだったため体力が落ち、体力づくりのためジムに通っています。月曜日以外はほぼ毎日。月曜日は家の周辺をずっと歩いています。また新しい家が建ったねえとか2人で会話しながら。

散歩するにもいろんなコースがあるのですごいです。ミュージアムパークに行く途中では、ひばりの鳴き声が聞こえ、また、夜も電気が付いていてとてもきれいです。山形市内の素敵な夜景も見ることができます。

今後の生活は 山形に住みたいという強い思いだけでこちらに来たので、これからは細く長く暮らしていければと考えています。サラリーマンの時は決められたことをしなければならぬというプレッシャーがありましたが、今は自分の好きなことをするのが何よりも楽しい。花を育てるのもそうですが、土を触っていると予想しないことが起きます。仕事をしている時は見えなかったものも見えるようになり、ここは本当に気持ちがほっとする場所。今はスローライフを満喫といった感じです。



新居2階吹抜けの窓の外には
昼は青空、夜は星空が広がります

